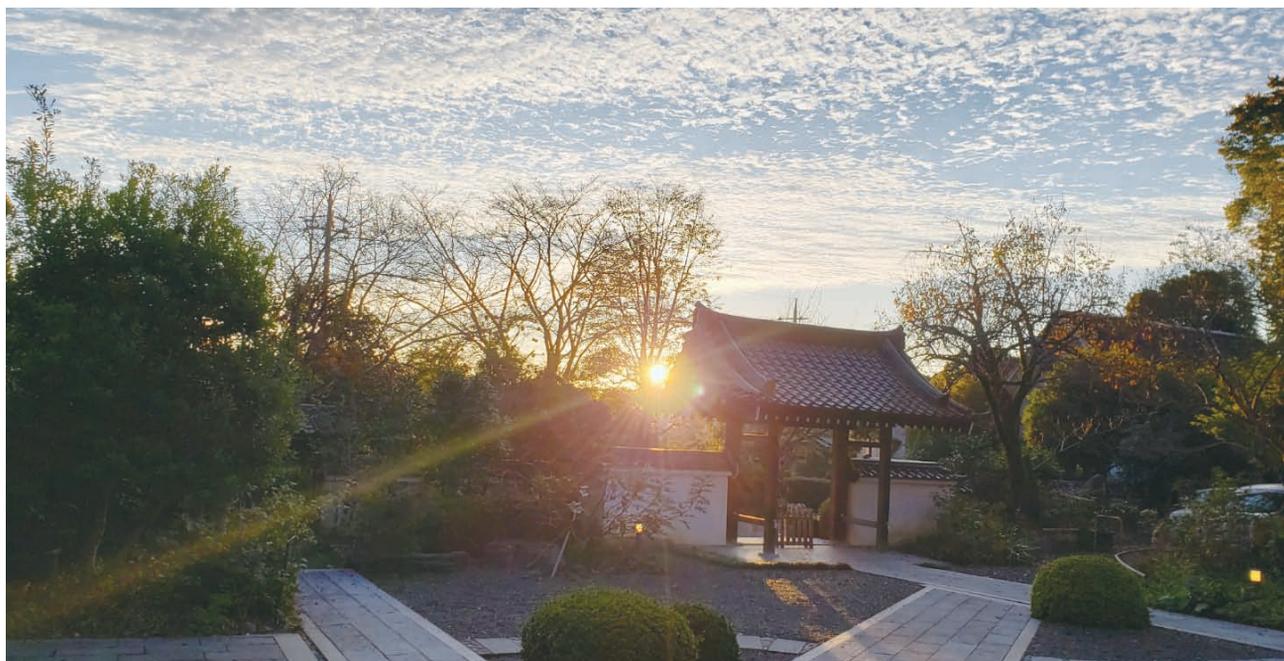


築田寺だより



朝日さす やなだの寺の観世音
水に月影 うつるちかひは

齋藤筍堂謹也 — 築田寺住職

二〇二〇年十月二十二日 朝六時。燃え上がるような朝焼けを見て飛び起き「火事のように七国山が燃えているよ」と叫んでしまった私。普段見かける茜雲と異なり、燃えるような赤。写真をとって寝不足の妻を起こしたが、既にギリギリ。あつという間に温和な朝の様相となつてしまった。気づいてから五分。すごいなあ。まさに「あさひさす 築田の寺の観世音…」という当山ご詠歌を何回も口ずさんでしまった。そしてまたテレビでみる世界の絶景に怠らぬ、秋の東の空の築田寺からみる絶景に大感激。六十五年住む私にとって初めての感激の空であった。写真は間に合わなかったが、すごく赤い色が眼の奥に焼きついた一瞬であった。前夜は東空にオリオン座流星群の一番星に見入った。空を見上げてみよう。まわりを見直してみよう。そして叔父の残した色紙に書いてあった「求むればうたた遠く されば眼前にあり」の語句を強烈に思い出した。ご報告まで。



〔行事〕

出家得度式のお知らせ

昨年につづき本年も十二月六日(日)九時より出家得度式を行います。出家得度者は、久保秀雄氏(六十七歳)、NTTに勤務され活躍された方です。身体健全道心堅固にして心豊かに過ごせるようにと願います。多くの方々かた「出家の志」を見届けていただければと思います。



2019年9月23日 得度式

歳末お餅つき

十二月二十日(日)九時より年末恒例のお餅つきを「里山の会」主催で行います。ご興味のある方はおいでください。



2018年のお餅つきとYATOのライブ

年末年始ご多忙の中、毎年ご挨拶においでくださる方々へ、ろくなご挨拶を申し上げます。幼稚園、保育園、こども園等、乳幼児保育に大人は全員邁進しているため留守にし、すれ

違いになり易いと思えます。ご誠意に感謝しつつお詫び申し上げます。

毎年一月一日に行っている大般若会及旧壇家新年会につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため左記のようにさせていただきます。

- ◆ 大般若会、初詣、新年初参りは例年通りどなたでもご自由にご参加ください。(大般若経祈禱転読会 十二時より)
- ◆ 新年会は中止といたします。
- ◆ 年忌法要は申込予約してください。家族だけでもお一人でもかまいません。過去に感謝することが現在に自信を未来に希望をもたらすと言われています。
- お布施(志)は負担に感じない範囲で仏前に。

年末年始

新年の万事無事を祈念します。無事がいいですね。風も光も佛のいのち、全てをありがたく受け取って、一年を過ごしましょう。

【予定】

※どなたでもご参加できます。

- ◆ 12月4日～8日 接心会
- ◆ 6日 出家得度式
- ◆ 8日 読経朝課「成道会」(お釈迦様が悟りを開かれた日)
- ◆ 9時 歳末お餅つき
- ◆ 31日 晩課及巡堂(山内を巡り一年を感謝します) 夜坐(随坐)
- ◆ 元日
 - 0時 初詣参拝開始
 - 5時 坐禅一柱
 - 6時 大般若、朝課読誦
 - 6時半 坐禅会朝粥、祝坐
 - 12時 大般若読誦会

ウィズコロナ時代に
注意しつつ様々な夢に
向かっていきましよう

築田寺は「夢」の寺です。先師中興泰全和尚直筆の墨跡からこの「夢」の字をとりました。夢の石碑を四十年前から本堂前の境内の中心に置いています。明恵上人の「夢の記」も読ませていただいております。尚、山門には「東向山」という額の山号を掲げるのが普通ですが、当山は高祖道元禅師の「起鳳」をとり、僧は無論ですが園児たちも一角の人物になって飛び立つという願いのもとに「起鳳」を阿彦さんに刻んでいただき山門建立の年にかけてものです。四分の一世紀にわたって教育支援を行ってきた「ネパール・ミカの会」のルンビニ園周辺の校舎建設支援や備品贈呈などコロ

ナ禍で全く活動できず実に残念です。中国北京の残留孤児教育支援から始まった日本語幼稚園、ボランティア活動も天安門事件で終結してしまいました。その後六人で行ったルンビニ園、釈尊誕生された地での雨漏り校舎修復工事に始まったルンビニ周辺小中学校校舎建設、一年に二〜三校を夢中でやった年もありました。無我夢中で詳しい事情も分からずに支援に赴いたことは、後になってよかったですのかなと思います。「時になかう」という事は大事ですね。今ではできないと思われれます。



〔偶感〕

ある日タンスを整理していたら、タンスの肥やしになつてきた石皿、油皿が十枚程度出てきました。三十〜四十年前に何となく一枚また一枚と古玩店より引き取つてそのままタンスの中にしまつていたもの。一度も飾ることはなかったけれど、それでも「古民芸」。それなりに力があり四十代位の私に戻った感じがしました。すっかり忘れやすくなり、力を見失いがちな昨今。「好き」こそ…という通り、いろんな方面に夢中になつていた頃の活力を取り戻したいと思えました。少し紹介しておきます。凡皿ばかりですが、オーソドックスな柳図などいかに瀬戸を表すものです。呉須の臭いのあるこのダイナミックさが好きだったと思います。また

黄瀬戸皿や笠原鉢、織部角油皿があります。まあまあの品と思います。ほとんどが江戸後期〜明治くらいのものですが、この黄瀬戸や笠原だけは江戸初期までいくのかと密かに思っています。今から見るとこの系統に絞ってやり続ければ、もう少しマシな収集家になつていただろうと思いません。後悔先に立たず。あきらめず一途にと今頃思う。わが骨董遊びの時代も終わったと思ひ、反省の意味を含めて、こんな下手なものも好きだったのかと感じてもらえれば幸いです。





境内竜王が池横の無患子の木

無財の七施

- 一、眼施（やさしいまなざし）
- 二、和顔悦色施（やさしいほほえみ）
- 三、言辞施（心からの優しい言葉）
- 四、身施（身体を使ってまわりの人に親切）
- 五、心施（心から相手のことを考え助ける）
- 六、床座施（席や場所をゆずる）
- 七、房舎施（自分の家でもてなしを）

「床座施（席や場所をゆずる）」また「房舎施（自分の家でもてなしを）」をまずお寺から実行し来年度企画中です。只管打坐、身体健全、心願成就、家内安全などを、どうお寺として具体的に表すのか。新時代にどうイキイキと対応し過ごせるのか。真剣に考えていきたいと思えます。シングルのご家庭も増え、お墓の後継者問題なども考えていかななくてはなりません。

赤とんぼ
じつとしたまま
明日どうする

風天の虎さん（渥美清さん）の句です。今年はコロナ禍でじつとした約一年間でしたが、皆様はどう過ごされていたでしょうか。

おおらかに

静かにしろき 雲はゆく

しづかにわれも

生くべくありけり

（相馬御風）

いろんなことを思い出しながら日を過ごしています。メモ帳に「生涯を不器用に下手に生きてきた私。明日は明日。ゆつたり生きたいもの。」とあります。振り返りは高齢の証拠かなあと思いつつ、前へ前へと進む、我が後継者たちの行動についていくのがやっとの私共夫婦です。

◆二〇二〇年（令和二年）

一月三十日当山にご支援いただいた松山典生師が肺炎のためご遷化されました。

二代九十年に渡りご厚誼預かりました。大本山総持寺の役寮も長年勤めておられました。

◆コロナではないと思われませんが、孤独死で遺体が数日経って発見された例が当山周辺でもおこっています。つらいですね。

◆幼稚園等の場所で四月五月の二ヶ月間に渡り登園自粛が要請されましたが、開園し続けて今に至っていますが、保護者の方も大変でしたが、それでも勤務できると感謝されました。

◆コロナ感染の注意として、マスク、手洗い、三密を避けるなどがあります。それは今後も変わらず、どうか墓参りの折は注意してお願いいたします。